

新ビジョン実現プロジェクト for 2030 始動

原点「次工程はお客様」をすべてのステークホルダーに

株式会社サンフーズジャパンの全てのステークホルダーの皆様

平素は多大なるお力添えをいただきありがとうございます。

会社を支えてくださるすべての関係者の皆様と日々努力を積み重ねる従業員のおかげで、株式会社サンフーズジャパンは4月1日から、第41期を迎えました。

期初、「有難う」を指針に掲げ、39期から2年間、「感謝」をテーマに取り組んで参りました結果、第40期はいろいろな意味でメモリアルな一年になりました。

推定値ではありますが、売上金額は23億円で着地する見込みでございます。

この数字は、サンフーズジャパン史上最高記録になりました。

40期に取り組んだ内容を振り返りますと、

9月には「つなぐ・むすぶ・みらい」をメインテーマに、コロナ禍後初の大規模イベントとなる40周年記念イベントを開催することができました。

従業員の皆さまからも、たくさんの歓びの声をいただきましたし、私にとっても記憶に残る、大変楽しい体験となりました。

当日、全従業員が寄せ書きしたタペストリーは、今も食堂に掲示されており、私のデスクにある、皆さんからの感謝の気持ちを伝えるメッセージカードは、感動の記録として未来に残る宝物となりました。

そして、39期から継続しているサンキューカードプロジェクトを通して従業員同士で、たくさんの「ありがとう」を交換することができました。

さらに40期は、社内コミュニケーションを充実すべく、広報・コミュニケーションプロジェクトを立ち上げ、早速社内報の創刊に着手、チームメンバーの尽力により41期のスタートに創刊号を発刊することができました。

また、自社ブランドのYORITOKOについては、半調理レトルト「ミタス」、ご当地レトルト「京風カレー」を地元京都のみならず、東京、大阪、京都、新潟の展示会に出展、ご紹介し、たくさんのお問い合わせをいただき、41期の展開に弾みがつく結果となりました。

また、DX（デジタルトランスフォーメーション）についてもプロジェクトが着々と進行し、倉庫の温度管理、原材料の在庫管理をはじめ実働した一年でもありました。

一方、正社員に向けては、人事評価制度の見直しを行い、新たに「スペシャリストステージ」を新設するとともに評価制度の問題点の改善を行い、41期から実運用する運びとなりました。

人財育成の面では、管理職のみならず、次の時代を担うネクストリーダー、つまり主任・係長に向けてのネクストリーダー研修も初めて実施させていただきました。

そして、40期には新卒採用を開始、当期に入社した社員はそれぞれの部署で活躍中、さらに41期も新たに3名の新入社員を迎えることができました。

サンフーズジャパンの「未来」に向けて、会社が急成長、人も着実に育っていることを実感する、おかげさまでの40期となりました。

しかしながら、急成長に隠れて、見落としてしまうこともありました。

その一つは、製造環境の改善です。

昨年の記録的な猛暑のなか、特に夏場の製造現場の環境はかなり厳しい状況にあったと認識しています。

今期は、製造のみならず、会社で働く環境を改善する取り組みを最優先に進めてまいります。

また、DXの推進により、事務作業軽減とデータ管理をさらに進めて参ります。

41期は、原材料の高騰をはじめ様々なコストが上がり、40期に比べても、厳しい状況が予想される中、あらゆるコストを削減することで収益性を確保し、ステークホルダーの皆様への還元を実現したいと考えております。

ここに、サンフーズジャパンの新たな決意の思いを込めて、第41期の指針を掲げます。

当期の指針は「次工程はお客様」です。

実は、この言葉は、サンフーズジャパンの創業当時から受け継がれる言葉です。

あえて今期にこの指針を掲げたのは『変わるために原点に帰る』ことが大事だと思ったからです。

事業が大きくなる、取引先が増える、金額が増えるということは、それだけ社会的責任が大きくなる、ということです。

言い換えれば、今、サンフーズジャパンは、さらに大きな社会的責任を背負って、大きく前に進もうとしています。

その私たちに必要かつ根幹にあるべき考え方は、今期の指針「次工程はお客様」に集約されると私は考えます。

自らの仕事に責任を持ち、次につなげる。

それは、仕事そのものであることはもちろんですが、一人ひとりの「思い」でもあります。

「次工程」とはすなわち、自分が託すその先です。

このことを一人ひとりがしっかり自分事として胸に刻み、サンフーズジャパンの未来を切り拓くために41期も取り組みを進めてまいります。

最後に新たなビジョンのお話しをさせていただきます。

サンフーズジャパンは、新・ビジョン実現プロジェクト for 2030 を始動しました。

ビジョンは刷新しましたが、私たちの普遍的な目的は変わりません。

「組織の生産性を上げ、みんなが豊かになること」

これが、サンフーズジャパンの目指す未来です。

従業員一丸となり、全てのステークホルダーの皆様と共に、新しいビジョンを実現させ、さらにその先へ向かって全身全霊で取り組み、挑み続けることをここにお誓い申し上げます。

引き続き、ご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和7年4月1日

吉田武史